

支部だより

(各支部からの報告)



- 関東支部
- 東海支部
- 鶴友会
- 関西支部
- 筑紫支部
- つつじ会
- 福大医学部支部



関東支部

「ミレニアム」で年が暮れ、年が明けました。東京では即位十周年記念行事、天皇誕生日、また、皇居前丸の内では「東京ミレナリオ」が開催されました。これは、十二月二十四日、一月一日の間、約三百五十メートルに渡って光の彫刻「プラトウーラ」によって、千年紀の到来を光の輝きとともに迎ようとする新しい祝祭です。コンピュータの「○○○年問題(Y2K)」も大きな混乱もなく順調なスタートでした。

母校も創立五十周年の節目を乗り越え新たな歩みを進めています。支部も十七周年の歩みから、まず、十周年、さらに五十周年に向けて気持ちを新たにしております。「組織は永遠なり」「キンシャイ待つとるバイ」を合言葉に取り組んでいます。

本年は役員会を三役会(水曜日)役員会(土曜日)とし毎月交互に行います。方針の検討は三役で行い、役員会はより多くの参加を求め、審議・確認を行い、会員に伝達、組織の活性化をと思っています。集まる！連帯の環を拡げることにつなげたいものです。本年の行事としては

- 役員会(三役会) 毎月第三水曜日から土曜日
 - 新年会…一月 新しい年を迎える会
 - 花見会…四月 桜を眺める会
 - 海水浴…八月 大海原で健康になる会
 - 総会…十月二十一日/十八回総会・懇親会
 - 忘年会…十二月十六日(第三土曜日)
- を計画。努めて家族参加の方向で考えてい

ます。

二十一世紀・母校の百周年・支部五十周年に向けて飛躍の年、基礎固めを計りつつまいります。同窓会本部・母校・同窓生の皆様、今後ともよろしく、御指導・御協力下さい。おわりに、母校バスケットボール部の全国大会「ウインターカップ」を応援し、大変うれしく、また心強く思いました。「文武両道」を目指して「福大入道」の益々の飛躍発展を願ってやみません。

(支部長 齊藤昭彦)



▲丸の内に光の通路
(東京ミレナリオ)
大災に見舞われた神戸市で5年目を迎えた電飾イベントの東京初進出



東海支部

東海支部は、今年で創設六年目を迎えます。現在の会員数は、十九名。(ちょっと淋しい。)

昨年の十一月二十七日(上)には、第五回総会を開催いたしました。会員十七名が参加、また来賓として母校からは近藤校長、同窓会本部からは、本村副会長、関東支部からは篠崎顧問、関西支部からは重本支部

長に、ご出席いただきました。

総会は隔田支部長の挨拶に始まり、活動報告、会計報告など定番どおり和気あいなの中、厳粛に取り行なわれました。その後は、お待ちかねの懇親会。近藤校長、本村副会長からは母校の発展ぶり、OJの活躍ぶりなどのお話を頂き、会員・同、目を輝かせて聞き入っていました。また、篠崎顧問、重本支部長の支部活動の報告、特に会員獲得のための苦闘話には、同じ悩みを持っている当支部としても、共感の思い、また、貴重な体験談として、深く心に受け止めて頂きました。

最後に、お決まりの校歌斉唱。全員が学生時代に返って力いっぱい歌う姿は、まさに感動もので胸がジーンとくる思いでした。二次会は、会員御用達のスナック「ブチ華」でワイワイガヤガヤ。座りきれないため、立ち席がでるほど。近藤校長をトップに全員が口頭鍛えしノドを披露。宴は、深夜まで延々と続きました。

相変わらず暗い話が多い世の中、大塚の仲間が集まって元気を出し合った一夜は、明日の活力につながる、大変有意義なものでした。

ところで東海支部では、十二年一月二日付けで支部役員の変更をおこなったので、お知らせいたします。

隔田博支部長(一回生)顧問に就任。
藤崎徳副支部長(三回生)支部長に就任。